



編集、デザイン、DTP：サムリット
〒105-0004 東京都港区新橋3-23-4/2F
TEL: 03-3432-4318 FAX: 03-3432-2962
muangthai@samrit.co.jp



ムアンタイはタイ語で「タイ国」という意味です



スラタニ県地図

スラタニ県はタイ南部、マレー半島の東岸側に位置し、同名の県庁所在地スラタニ市は、バンコクから南へ644 kmほどの所にあります。町はタイ湾に注ぐタビ川河口近くを開けており、ゴムやココナッツの取引が盛んな商業の中心地です。

スラタニ市から東へ6 kmほどの所に設けられた野生動物センターです。本部のある海拔200 mの丘の頂上に建つ塔、プラタート・スィー・スラットには、インド政府から贈られた仏舎利が納められています。ここからはスラタニ市街、タビ川、バードン湾が一望できます。 ⑥ 6時～18時 無料 ⑦ 66-77-2889・600

スラタニ市の西約12.4 kmに広がる国立公園です。園内にそびえるソック山の熱帯雨林は、1億6000万年前の生態系が残る森林です。 ⑧ 8時～18時 ⑨ 200 B ⑩ 66-77-3955・1555

タイで最も人気のある島のひとつで、ヤシの木に覆われていることから、ココナッツ・アイランドとも呼ばれています。かつてはアジアを放浪する旅行者が集まる所として知られていましたが、1989年に空港が開設されたからの発展は目覚しく、一大リゾート・アイランドとして様変わりしています。

カメの形をしているところからタオ(カメ)島と呼ばれるこの島の周辺は、海水の透明度が高く、東南アジア有数のダイビング・サイトとして知られています。サムイ島からはエクスペレス・ボートで、島の西側にあるバーン・メー・ハート村まで1時間半。サムイ島からの1日ツアーもあります。

スラタニでは1926年にランブータンの栽培が始まり、今ではタイ有数の産地となっています。毎年8月に行われるランブータン・フェアには、さまざまな果物で飾られた山車が出ます。

県内には、タイ湾に浮かぶ多くの島があり、タイ有数のリゾート・アイランドであるバンガン島や、ダイビングのメッカほどの小島からなるアントン諸島国立海洋公園もスラタニ県に属しています。

スラタニ市の北郊外にあるチャイヤの町からさらに7 kmほど北にある寺院。1959年にタイの有名な僧侶によって建てられ、自然に包まれた森林寺院として知られています。毎月1日から10日の4時から21時まで、外国人のための瞑想が行われており、前月末日の登録に間に合うように寺院を訪ねれば、誰でも瞑想に参加できます。料金は食事込みで、10日間1500 B。 ⑪ 6時～18時 ⑫ 無料 ⑬ 66-77-4311・522 ⑭ www.suanokkong.org (英語)

スラタニ市の西約12.4 kmに広がる国立公園です。園内にそびえるソック山の熱帯雨林は、1億6000万年前の生態系が残る森林です。 ⑧ 8時～18時 ⑨ 200 B ⑩ 66-77-3955・1555

島の西側にはエレファント・トレッキングが楽しめる所もあります。さらに、モンキー・センターでは、サルのヤシの葉を食して遊ぶ姿が見られます。ゴルフを楽しむ人のためには、2003年11月に島の北部にオープンしたサンティプリ・ゴルフ・クラブのSantipri Golf Club ⑮ 66-77-4255・562 ⑯ www.santipri.com (英語)があります。

スラタニでは1926年にランブータンの栽培が始まり、今ではタイ有数の産地となっています。毎年8月に行われるランブータン・フェアには、さまざまな果物で飾られた山車が出ます。

スラタニ市は、タイ南部、マレー半島の東岸側に位置し、同名の県庁所在地スラタニ市は、バンコクから南へ644 kmほどの所にあります。町はタイ湾に注ぐタビ川河口近くを開けており、ゴムやココナッツの取引が盛んな商業の中心地です。

スラタニ市の北郊外にあるチャイヤの町からさらに7 kmほど北にある寺院。1959年にタイの有名な僧侶によって建てられ、自然に包まれた森林寺院として知られています。毎月1日から10日の4時から21時まで、外国人のための瞑想が行われており、前月末日の登録に間に合うように寺院を訪ねれば、誰でも瞑想に参加できます。料金は食事込みで、10日間1500 B。 ⑪ 6時～18時 ⑫ 無料 ⑬ 66-77-4311・522 ⑭ www.suanokkong.org (英語)

スラタニ市の西約12.4 kmに広がる国立公園です。園内にそびえるソック山の熱帯雨林は、1億6000万年前の生態系が残る森林です。 ⑧ 8時～18時 ⑨ 200 B ⑩ 66-77-3955・1555

島の西側にはエレファント・トレッキングが楽しめる所もあります。さらに、モンキー・センターでは、サルのヤシの葉を食して遊ぶ姿が見られます。ゴルフを楽しむ人のためには、2003年11月に島の北部にオープンしたサンティプリ・ゴルフ・クラブのSantipri Golf Club ⑮ 66-77-4255・562 ⑯ www.santipri.com (英語)があります。

スラタニでは1926年にランブータンの栽培が始まり、今ではタイ有数の産地となっています。毎年8月に行われるランブータン・フェアには、さまざまな果物で飾られた山車が出ます。



Travel Guide 旅先案内 Surat Thani

人気のサムイ島を擁する マレー半島東岸の県

スラタニ



ビッグ・ブダ寺院

も楽しめ ます。サムイ島には数多くの美しいビーチが点在しており、なかでも東岸のチャウエン・ビーチがいちばん賑やかで、たくさんのホテルやコテージが建ち並んでいます。ほかにも島の北部にメナムやボ・ブット、北東部にチョン・モン、東南部にラマイなどのビーチがあり、シュノーケリングやウィンドサーフィン、パラセーリングなどのマリンスポーツが楽しめます。また、ダイビング・スポットを利用する場合は、日本人インストラクターが常駐するダイブショップもあり、便利です。

旅先案内 / Travel Guide	スラタニ (Surat Thani)	1
TAT ニュース / TAT News		2
Amazing Taste! タイ南部料理 (Thai Southern Foods)		2
タイ旅行体験記 / My Trip to Thailand	心安らぐメニュー・ムーン	3
Thailand in Japan		3
イベント情報 (タイ国内) / Calendar of Event in Thailand		3
9月・10月 (Sep.-Oct)		3
ちみじみ道草 / See More Thailand		3-4
タイの歴史に語り継がれる女性たち (Thai Heroines)		4
TAT オススメの旅 / Recommended Tour from TAT		4
ラタナコシン島 (Ratanakosin Island)		4
共同企画 TATと地球の歩き方が共同ツアーで取材旅行を企画 (Date Phuket News)		4



サンティプリ・ゴルフ・クラブ

スラタニ市は、タイ南部、マレー半島の東岸側に位置し、同名の県庁所在地スラタニ市は、バンコクから南へ644 kmほどの所にあります。町はタイ湾に注ぐタビ川河口近くを開けており、ゴムやココナッツの取引が盛んな商業の中心地です。

タイ南部はマレー半島に位置し、北はチュンボン県から南はマレーシアと国境を接するヤラ県までの地域を指します。東側のタイ湾と西側のアンダマン海に挟まれて南北に細長く、内陸は山々が連なり、モンスーンの影響で雨量が多い所です。このような変化に富んだ地形と気候のため、川や海、そして山からもたらされる豊かな食材に恵まれています。

また、南部には、昔から中国系の人々が住む地域やイスラム教徒であるマレー系の人々が多く住む地域などがあり、それぞれの独自の文化が残っていたり、融合したりしているのが大きな特長です。

長い海岸線をもつ南部は豊富な海の幸に恵まれ、タイの人々にとっても、南部というと、美しい海と豊かなシーフードが頭に浮かびます。なかでも、ブーケットのロブスターやストラタニの大きなカキ、小魚の一種でいろいろな料理に使われるシンシヤンがよく知られています。捕れた魚介類はさまざまな方法で保存



Amazing Taste!
Thai Southern Foods

タイ南部料理

されますが、塩漬けの魚や干しエビ、魚を発酵させて作ったタレ「ナムドゥー」なども有名です。

魚介類以外にも、そうめん似た「カノムチン」(うるち米で作った麺)と一緒に食べる「ナムブリック」(エビや魚に唐辛子やハーブを入れて作ったタレ)はほかの地域でも見られますが、南部のものは味が濃くはつきりしており、特に美味しいといわれています。

タイ南部の食文化は、産物や宗教の違いから、地域によって異なる面もあります。例えば、西部海岸地域の朝食は、「カノムチン」と「バックノ」(料理に添えられる野菜の盛り合わせ)や魚のすり身「ホーモック」です。東部のナコンシータマラート県では、朝食に「カノムチン」や、もやしやいんげん、ポメロ、レモングラスなどをナムドゥーで味付けして食べるませごはん「カーウヤム」、南部のカレーかけごはん「カーウヤム」、南部のカレーかけごはん「カーウヤム」や「バックノ」などを食べます。アンダマン海に浮かぶブーケット島では「カノムチン」や「カーウヤム」、中華風揚げパン「パートンゴ」のほか、タイのお菓子や中国福建のお菓子にお茶やコーヒー、または福建焼きそばを食べるなど多種多様です。

タイ南部はマレー半島に位置し、北はチュンボン県から南はマレーシアと国境を接するヤラ県までの地域を指します。東側のタイ湾と西側のアンダマン海に挟まれて南北に細長く、内陸は山々が連なり、モンスーンの影響で雨量が多い所です。このような変化に富んだ地形と気候のため、川や海、そして山からもたらされる豊かな食材に恵まれています。

TAT News

■「タイ・フェスティバル2005」開催される/"Thai Festival 2005" was held



「タイ・フェスティバル」が、5月14日と15日に東京・代々木公園イベント広場で行われ、約40万人が来場しました。今年も6回目を迎え、従来の「タイ・フード・フェスティバル」から「タイ・フェスティバル」と名を変え、タイ料理はもとより、OTOP(一村一品)の商品などの物販ブースがより充実。ステージも、タイから来日した「ローズ・ガーデン」の出演者によるムエタイやタイ舞踊のパフォーマンスやタイのバンド「カラバオ」による歌などで盛り上がり、会場はタイ一色に染まりました。TATもブースを設け、タイ観光の魅力を紹介しました。

■TAT、「パタヤナイト」を開催/TAT organized "Pattaya Night" in Japan
TATは、5月12日に東京のホテルニューオータニで、16日には大阪の帝国ホテル大阪で、旅行業関係者を対象に「パタヤナイト」を開催。パタヤからは観光関連業者および機関の代表者が来日し、最新情報を提供しました。ここ数年、パタヤ市内および周辺には、エンターテインメント劇場「アランカーン」、水族館「アンダーウォーターワールドパタヤ」などの新しい観光施設やホテルが続々と登場しています。

スワンナプーム新空港が開港すると、パタヤへは1時間以内でのアクセスが可能になります。

■「第3回タイフォトコンテスト」受け付け終了/ Application Period for "3rd Thai Photo Contest" was Close

「第3回タイフォトコンテスト」は、6月末日をもって応募の受け付けを終了させていただきました。たくさんのご応募ありがとうございました。入賞者の発表は、8月中旬、TATのホームページ(www.thailandtravel.or.jp)上で行います。

ブーケットの東南にあるラン県では、ブラック・コーヒー、「パートンゴ」焼きもち米、それに最近では、ラン名物の焼き豚や飲茶なども食べられています。

味は濃厚、甘さは控えめ
南部料理の味の特徴は辛味、酸味、塩味、塩味が強く、甘さは控えめです。辛味は唐辛子や胡椒で、酸味はカボチャに似た形の果物でとてもすっぱいソムケークやマカム(タマリンド)、マオ(ライム)で、塩味は塩などで味付けをします。濃厚な味をやらげられるために料理には野菜が必ず添えられ、おかずと一緒に食べます。また、口の中の辛さや生臭さを消すために、食後の果物やデザートも欠かせません。

カミンの黄色に染まる料理
肉より魚をよく食べる南部では、臭みを消すために、タイではカミンと呼ばれるターメリック(ウコン)をよく使います。カミンは生臭さを消してくれただけでなく、見た目を美しくし、カミン独特の甘味と辛味が味を引き立ててくれます。

カミンはショウガ科の植物で、その根茎を乾燥したり粉にしたものを料理に使います。ボーライタイ・オイルという香り油やバクテリアやばい菌を殺す作用のある黄色いカークミンが含まれ、腸管内のガスを排出やすくする駆風作用や消化を助ける作用、食欲増進作用があります。

カミンを使った代表的な料理には、「ゲーンタイプラー」(魚の内臓のスパイス・スープ)と「ゲーンルアン」(黄色いスパイス・スープ)。「それに南部ならではのカミン入り「カノムチン」ナムヤイ(スパイス入り・スープかけ麺)や「ホーモック」(魚のすり身の蒸し物)、「魚のカミン揚げ」があります。

また、今では他の地域の都市部でも見られるようになりましたが、南部には独特の野菜が多く、料理にふんだんに使われています。

最も代表的なのがサトー(ネジレフサマメ)です。昔は野生のものしかなかったのですが、最近では作物として栽培されるようになりました。サヤエ

ンドウを大きくしてねじつたような形のもので、長さが30cmから35cmもありま

「バックノ」は、南部料理には必ず添えられる野菜の盛り合わせです。生そのままのもの、ゆでてココナツミルクをかけたもの、漬物にしたものなど、野菜の種類も調理法もさまざまです。

そのほかには、黒い大きな豆のルークニアン、もやしをもっと大きくしたようなノリアンなどがあります。

「バックノ」は、南部料理には必ず添えられる野菜の盛り合わせです。生そのままのもの、ゆでてココナツミルクをかけたもの、漬物にしたものなど、野菜の種類も調理法もさまざまです。

食べ方はいろいろで、実を生で食べたり、さやごと炭火の中に入れて蒸し焼きにしたり、煮たり、漬物にしたりと、さまざまな料理に使われます。特に炒め物にはよく使われ、サトーとエビの炒め物などがあります。炒め物の場合は、ほかの野菜と一緒に入れないのが特長です。その他、カレーやスパイス・スープなどにもよく使われますが、このときにはタケノコなどほかの野菜も入れます。サトーの特長は、ほかのハーブやスパイスを入れても、サトー独特の香りがなくならないことです。それは、サトーに硫黄成分が含まれているからです。

第4回水かけまつり&アジアフェスタ
さいたま新都心けやきひろば(JR京浜東北線「さいたま新都心」駅から徒歩すぐ)
8月20日(土)11:00~18:00
21日(日)11:00~17:00
無料
さいたまアリーナ ☎048-601-1122
www.saitama-arena.co.jp/mizukake/
水かけ祭り(ソクラン祭り)を、さいたま新都心オリジナルとしてアレンジ。アジア各国の舞踊や各種パフォーマンス、文化体験などを通して、アジアの文化を知ってもらいかけづくりを目的としています。水かけは両日とも13:00~15:00に行われます。雨天決行。

JATA世界旅行博2005
東京ビッグサイト 東1・2・3ホール(ゆりかもめ「東京国際展示場」駅下車)
9月23日(金)10:00~18:00
24日(土)10:00~17:00
大人1,200円 学生600円 保護者同伴の小学生以下は無料
JATA世界旅行博事務局 ☎03-5501-3216
ryokohaku.com/top.html
海外旅行のための情報を一堂に集めた旅行関連イベント。TATも出店(ブース番号B-24)します。

書籍
『世界の車窓から』—あこがれの鉄道旅行

Vol.1「遺産と古都をめぐる」(テレビ朝日コンテツ事業部)
発売中
¥1,650円
www.tv-asahi.co.jp/book/
「豊かな歴史遺産をつなぐタイの鉄道北線の旅」でタイの鉄道が紹介されています。

雑誌『からだにいいこと』10月号(祥伝社)
8月16日発売
¥580円
祥伝社 www.shodensha.co.jp/karakoto/
チェンマイのホリスティックリゾートで「毒だし」体験の特集。

タイ語検定試験
第23回(2005年度秋季)ABKタイ語検定試験(旧JTECSタイ語検定試験)
東京、名古屋、大阪、広島、バンコク
1次試験:11月13日(日) 1~2級
2次試験:12月18日(日) 2級のみ
(財)アジア学生文化協会ABKアジアセミナータイ語講座 ☎03-3946-4122
www.jtecs.or.jp/
出願期間は10月17日(月)~11月5日(土)。

2005年秋季実用タイ語検定試験
東京、名古屋、大阪、バンコク
1次試験:11月13日(日) 1~1級

2次試験:12月11日(日) 2,1級のみ
NPO法人 日本タイ語検定協会 ☎03-3207-8223
www.thaigokentel.com/
出願期間は8月29日(月)~10月31日(月)。



Mu Trip to Thailand タイ旅行体験記

心安らぐメーナムコーン

竹内 弘子 主婦 (63歳)

タイ最北部チェンライ県にある古都...

タイはこれで3度目、最近はこの遠方までのツアーが組まれるようになったお陰で、一度是非訪ねたかった「メーナムコーン(メコン川)」を見るに、遠路はるばるやってきた。チェンマイからランパーンまで2時間の列車の旅を満喫したあと、さらに車で5時間近く走ると、チェン・セーンを経て、ゴールデン・トライアングルに到着する。静かな佇まいのなかに、人々のゆったりとした生活が営まれている。メコン川を挟んでミャンマー、ラオス、タイ3カ国の国境が目に見える。イミグレーションもあるにはあるが、人々は自由に行き来している。鳥たちと変わらない。

乾季の心地よい川風に吹かれながらメコン川沿いを歩いていると、ミャンマーとの国境を隔て、メコン川に流れ込むアク川に人々が集まり始めた。どうやら夕方の方の通勤ラッシュらしく、ミャンマー側へ働きに行っているタイの人たちはタイ側へ、ミャンマー側へ働きに来ている人たちはミャンマー側へ「帰国」する。ラッシュというよりもエッジング出しの平底舟で行ったり来たりして、どことなくのんびりしている。その風景が面白くて、オーブン・カフェでスイカのジュースを飲みながら1時間ほど眺めていた。店のおばちゃんがいいろいろその光景を説

明してくる。早口でさっぱりわからなかったが、あのスイカのジュースはとてつもなくおいしかった。別れ際にそのお礼をいうと、こりと微笑んでくれた顔が、なんと小愛嬌がある。その土地の人々との小さな触れ合いが、旅の思い出を濃くしてくれる。早朝散歩の途中、一軒の小さな店が開いていたので寄ってみた。初老のおじさんが何やら玩具らしい物を丹精込めて作っている。手のひらに乗るくらいのカラフルな小鳥で、その尾に本物の鳥



See More Thailand ちっと道草 Thai Heroines

タイの歴史に語り継がれる女性たち

現チャクリー王朝成立以前のタイは、国境を接する周辺諸国との勢力争いを繰り返してました。そのなかで、愛する夫や国を守るために命を賭して戦ったタイの女性たちがいます。タイでは「揺りかごも揺れば、太刀も振り回す」ということわざがあるように、やさしい良妻賢母も、いざとなると勇敢な兵士として活躍するのがタイの女性なのです。以下に紹介する「四大女傑」と称される4人の女性の活躍から、タイの女性の横顔が垣間見られることをご紹介します。

スリヨータイ王妃

2001年にタイで公開された映画「スリヨータイ」は、タイで大ヒット。カンヌ国際映画祭にも出品され、タイで初めて戦場に赴いた王妃スリヨータイの名を、世界に知らしめることとなりました。

スリヨータイ王妃は、アユタヤ王朝(1350~1767)チャクラバット王(在位1548~68)の王妃です。アユタヤ王朝は、1767年にビルマ(現ミャンマー)との戦いで陥落するまで400年以上続いた王朝です。アジアのみならずヨーロッパの国々とも外

の羽が微妙な角度で付いていて、それを糸でぶら下げると尾羽が風でくるくる回りとても美しい。思えば昨日の食堂でもたくさん鳥を店先に飾っていた。羽が回ってまるで小鳥が生きているようだった。ちょうど日本の風鈴といった風情で、涼しさを呼ぶ玩具になっていた。日本は耳から、ここでは目から涼しさを感ずるのだろうか……。「ロット・ノーイ・ダイマイ(少しまけて)」。値切り交渉を楽しみながら10羽ほど土産に買おうと、にやりと笑って気前よくオマケも付けて新聞紙に包んでくれた。この人の奥さんも、カフェのおばちゃんみたいに気のいい人ではない。

タイ北部には日本の昔を彷彿とさせる風景があり、観光ガイドには載っていない、思いがけない楽しさを見つけた、そんな旅だった。

交を展開し、国際国家としての繁栄を謳歌しますが、その一方で、度重なる隣国との戦いと王位継承争いの陰謀渦巻く時代でもありました。1548年、それまで仏門にあったチャクラバット王が還俗し即位します。即位からわずか6ヶ月後、ビルマの王が、前王の果てなせなかつたアユタヤ陥落を実現すべく挙兵し、アユタヤに向かいました。チャクラバット王はふたりの王子を伴い戦場に赴きますが、スリヨータイ王妃は初陣の王の身を案じ、男装して同行します。

ビルマの先鋒はビルマの属国、ブレリーの王でした。戦いの最中、チャクラバット王の象がひるんだ隙にブレリー王が太刀で切りかかろうとしたとき、王妃がふたりの間に割って入り、命を落としました。ブレリー王は、相手が女性だったことを知り、即座に退散したと伝えられています。スリヨータイ王妃の亡骸はふたりの王子によってアユタヤに運ばれ、手厚く葬られました。チャクラバット王は王妃のために仏塔を建立し、その遺骨を納めました。



スリヨータイ王妃は、夫と国を守るために自ら戦場に赴いた最初の王妃であり、その勇氣、愛、忠誠心は、タイの女性の鑑であると讃えられています。アユタヤ西部、チャオプラヤー川岸にある寺院、スアン・ルアン・ソップ・サワンに建てられた王妃の遺骨が眠るスリヨータイ王妃には、今も参拝の人の姿が絶えません。

トシブリ王朝が終りを遂げ、現チャクリー王朝の礎が築かれて間もない1785年2月、ビルマが最大規模である9つの軍隊を編成してタイに侵攻。その軍隊のひとつが南タイのタラーン(現在のプーケット)に攻め入ったとき、交戦の指揮を執ったのは、知事である夫が亡くなったばかりのジャンでした。ジャンは、夫の葬儀を行うこともできないまま、妹ムックと戦闘の体制を整えます。しかし、タイの軍勢は明らかに劣勢で、その不利を相手に気付かせないよう、成人女性を5000人ほど集めて男装させ、いかにも大軍が配置されているかのような物音まで立てさせました。この様子を見たビルマ軍は身動きがとれず、1ヶ月過ぎる頃には、食料も尽き、兵力は次第に衰えていきます。さらに、他の地域で勝利を得たタイの援軍が来ることを聞き付け、同年3月14日、ビルマ軍は撤退し、戦いは終わりました。

ふたりの姉妹のこの功績を知ったラマー一世は、姉のジャンに「タオ・テーパークラサトリー」、妹のムックに「タオ・シーストリー」という、特別な位を示す「タオ」が付いた名を贈りました。現在、3月13日はプーケットのタラーン郡の戦勝記念日で、ジャンとムックの栄誉を讃える日とされています。また、空港から市内へ向かう国道402号線にあるロータリーには姉妹のりりしい銅像が建ち、プーケットの守護神とされ、美しい花で飾られています。

ナコン・ラチャシマの誇り
「モイ夫人」としてタイの人々に愛されるタオ・スラナリーは、東北タイのナコン・ラチャシマ(コラート)の副市長夫人でした。



1826年、ピエン(4頁へ続く)

タイ国内 2005年9月~10月 in Thailand Sep.-Oct.2005
Calendar of Events
イベント
ボートレース (Traditional Boat Race)
ヤワラート・フード・フェスティバル (Yawaraj Food Festival)
プーケット・ベジタリアン・フェスティバル (Phuket Vegetarian Festival)

展示会・会議
タイランド・オートパーツ & アクセサリー 2005 (TAPA 2005)
バンコク宝石・宝飾品フェア (Bangkok Gems & Jewelry Fair)
バンコク・インターナショナル・ファッション・フェア 2005 (BIFF 2005)

10月1日(土)~2日(日)一般公開日
DEP 66-2-512-0093 ext.316 www.thaitradefair.com/fairin/biff05(英語)
タイ国内外のファッション、テキスタイル、レザー製品、はきもの関連企業、約550社が出展します。
スポーツ
キングスカップ・エレファント・ポロ 2005 トーナメント (King's Cup Elephant Polo 2005 Tournament)
Anantara Resort & Spa Hua Hin 66-24-770-800 www.thaielepolo.com(英語)
タイ王室の避暑地として知られるホアヒンで行われる、象に乗って行うポロ競技。国内外から集まったポロプレーヤーと象使いを乗せた象たちが技を競います。
Thailand in Japan
Little Thailand 2005
鎌倉由比ヶ浜海岸海の家 江ノ電 由比ヶ浜 駅下車、徒歩5分)

8月31日(水)まで
POP INN GROUP 090-3232-2450 www.little-thailand.jp/
今年タイレストラン8店が出店するほか、DJやライブ、ムエタイのパフォーマンスなどが行われます。
タイフェア
ホテルインタ - コンチネンタル東京ベイ/エイジアンテ - ブル(3F)
7月16日(土)~8月31日(水)
エイジアンテ - ブル 03-5404-7896 www.interconti-tokyo.com/
8月26日(金)はタイナイト。スペシャルディナーbuffeをお楽しみいただけます。
2005タイ国政府商務省認定レストラン 夏祭り
タイ国政府商務省認定レストラン34店
8月26日(金)~9月17日(土)
タイ国大使館商務参事官事務所 03-3221-9482 www.thaitrade.jp/
タイ王国大使館 www.thaiembassy.jp/
日本全国のタイ国政府商務省認定レストラン34店でディナータイムに行われるイベント。期間中、各レストランでは、特別メニューの提供やプレゼントが当たる抽選などを用意しています。参加店やイベントの詳細はホームページをご覧ください。

タイの首都バンコクを、タイの人々は「クルンテープ」と呼びます。実は、バンコクの正式名称は「クルンテープ・マハーナコーン・アマローン・ラタナコシン……」から始まる世界一長い名前です。この名の一節に出てくる「ラタナコシン」とは「エメラルド仏陀が安置されている所」という意味で、バンコクの一部、ラタナコシン島の地名の由来となっています。

ラタナコシン島は、西をタイの母なる川チャオプラヤー川、東をオン・アー運河およびパンランブルー運河に囲まれたバンコクの中心部で、バンコク発祥の地です。

1782年、短命だったトンブリ王朝が終焉を迎えると、最高司令官であったソムデット・チャオプラヤー・マハー・ガサックは、現チャクリー王朝の初代王ラーマ1世(在位1782~1809)となり、それまでチャオプラヤー川西岸(現在のトンブリ地区)にあった首都を対岸に移します。蛇行するチャオプラヤー川の湾曲部に川の上流と下流を繋ぐ形でオン・アー運河とパンランブルー運河を掘って中の島を造り、新しい首都としました。それがラタナコシン島で、ラーマ1世はここに王宮とエメラルド仏を祀るための寺院、ワット・プラケオを建設しました。現在も、ラタナコシン島には主要な寺院や各省庁、大学、博物館などが点在し、まさにバンコクの政治、文化、宗教、学問の中



Recommended Tour from TAT
TAT オススメの旅
Rattanakosin Island

バンコク発祥の地

ラタナコシン島



心地となっています。このバンコク観光の最重要スポットであるラタナコシン島を、4つの地区に分けてご案内しましょう。

● **オン・アー運河周辺**
ラタナコシン島の北東部、ラチャダムスン・クラン通りとディンソイ通りの交差点のロータリー中央には民主記念塔が建っています。これは1932年6月に起こった立憲民主革命を記念して、1940年に、時のビブーン内閣によって建設されたタイ民主主義のシンボルのモニュメントです。

この民主記念塔から南下するとバンコク市庁舎があり、その前にはバンコクのフルネームが書かれた細長い碑があります。また、市庁舎の周辺には、かつて祭りに使われた、大きな赤い鳥居のようなブランコのジャイアントスイング、ト・スウィングや、スコタイから請来した大仏を祀るワット・スタットがあります。

ラタナコシン島の外側ですが、民主記念塔から近いオン・アー運河対岸には、黄金の大仏塔がそびえ建つ寺院ワット・サケートがあります。境内のブーカオ・トーン(黄金の丘)の頂きに建つ黄金の大仏塔の回廊からは、360度のパノラマが開け、バンコク市内を一望のもとに見渡せます。

● **パンランブルー運河周辺**
サナム・ルアン(王宮前広場)の北、ラチャダムスン・クラン通りとパンランブルー運河に挟まれた地区には、世界有数のゲストハウス街であるカオサン通りがあります。周辺には手頃な値段の食堂や土産物屋、旅行代理店などが点在します。



その北、プラスメン通りとチャクラポーン通りが交差する所にはパンランブルー市場があり、道沿いには衣料を中心に売る商店がすき間なく並び、バンコク市民の活気を感じることが出来る場所となっています。また、プラスメン通りには、現プボン国王も修行されたお寺、ワット・ポウオンニウエートがあります。

プラスメン通りをそのままチャオプラヤー川の方へ進むと、突き当たりにはプラスメン砦があります。砦は、ラタナコシン朝初期には14カ所ありましたが、現在はこと民主記念塔の東側にあるマハカン砦の2カ所だけとなりました。

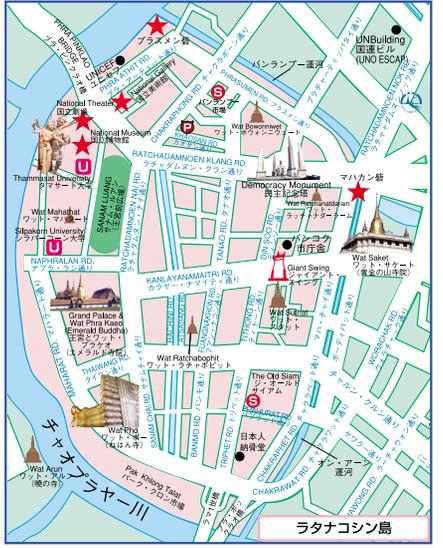
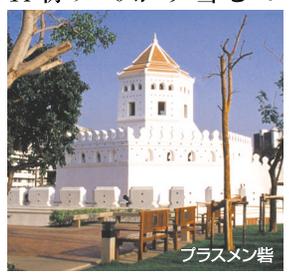
また、プラ・アーティット通りにはお洒落なレストランやコーヒーショップが多く、若者たちの人気を集めています。

● **サナム・ルアン周辺**
まずはチャオプラヤー川近くにある王宮。敷地内には、いくつもの宮殿があり、隣のワット・プラケオを合わせると20万坪もの広さがあります。ワット・プラケオは、1782年にラーマ1世が建設に着手し、その後増築を重ねて現在の形になりました。本堂にエメラルド仏を祀ってあることからエメラルド寺院とも呼ばれています。タイで最も高い格式を誇る第一級王室寺院で、タイで唯一僧侶がいない寺院でもあり、王室のさまざまな儀式が行われます。

ワット・プラケオの北側には、その敷地内に現在のタイ仏教の主流であるマハーニカイ派の大学をもつワット・マハタートが建っています。ここでは、一般市民や外国人のための瞑想教室も定期的に開かれています。

また、ワット・マハタートからチャオプラヤー川へ抜けた棧橋ター・パチャン周辺は、仏像、お守り、お香などを専門に扱うブッダ・マーケットとなっていて、独特の雰囲気にも包まれています。

● **ワット・ポー周辺**
王宮の南側には涅槃仏とタイ・マッサージで有名



(3頁から)チャン(現ラオス)の王は、タイからの独立のため、拳銃し、バンコクを目指します。同年2月17日、ビエン・チャンの軍はナコン・ラチャシマに侵襲してしまいましたが、折り悪く、市長も副市長も不在。しかも、残っていたのはほとんどが女性で瞬く間に攻め落とされ、モーター車をはじめ多くの捕虜がビエン・チャンに連行されることになりました。

連行される途中、モーター車は、料理や牛車の修理を口実に、ラオス軍から刀名な王宮寺院、ワット・ポーがあります。ラーマ3世(在位1824~1851)によって造られた涅槃仏は、全長49m、高さ12m。その大きさを驚かすことながら、特に興味深いのが仏像の足の裏です。足の裏には仏教の世界観を現した108の図が、美しい螺鈿(らでん)細工(貝殻を研磨して模様にはめ込んでいく装飾方法)によって描かれています。また、ラーマ3世によって医学の府とされたこの寺院は、東洋医学に基づくタイ・マッサージの総本山となっており、一般の人もここでタイ・マッサージを受けたり、学んだりすることが出来ます。

ワット・ポーの前を通るサナムチャイ通り周辺には、無数の古い大砲に囲まれた国防省、外務省、サランロム公園などがあります。

また、ワット・ポーからサナムチャイ通りを南下し突き当たったチャオプラヤー川沿いには、活気あふれるタイ最大の生花市場、パーク・クローン・マーケットがあります。

このように、タイの歴史と伝統、文化が凝縮されたこのラタナコシン島には、観光名所も多く、バンコクならではの一時を楽しめるでしょう。



タイランド 共同企画：
タイ国政府観光庁と『地球の歩き方』が共同でブーケット取材旅行を実施

タイ国政府観光庁は、(株)ダイヤモンド・ビッグ社『地球の歩き方』との共同企画で、6月25日から29日まで、ブーケットの取材を行いました。

『地球の歩き方』の学生スタッフ、大学4年生の澤野加奈恵さんと2年生の澤野由依さん姉妹がモニターとして、学生にも人気のデスティネーション、ブーケットの現状を取材しました。

取材地はパトン・ビーチ、ピビ諸島、ブロムテープ岬、カタ・ビュー・ポイント、ニューハーフ・ショー、ブーケット・ファンタ・シー、象のトレッキングとカヌーそしてタイ式マッサージなどなどアクティビティも盛りだくさんの取材となりました。観光に訪れていた日本人にも突撃インタビュー。

詳しい内容は観光庁ホームページで公開中です。

どうぞご覧下さい
www.thailandtravel.or.jp/

澤野加奈恵、由依姉妹

ワット・チャロンでお祭り

ケーブ・パンワのビーチ

気分は象使い

ヤスコップを借り出しては木を削り、武器を作りました。3月23日、ナコン・ラチャシマから約40kmほどのピマインの平原で泊まることになり、モーター車は相手兵に「ごちそうをふるまい、兵士たちが酔った隙に、作った武器を使って反撃に出ます。」

さらに、モーター車の指揮でピマイに砦が築かれると、散り散りに逃げていた村人たちが集結。戦いの士気は高まり、やがてバンコクからの援軍が到着し、ナコン・ラチャシマを守り抜きました。

この業績を讃え、ラーマ3世は、モーター車に、特別な位を示す「タオ」を付け、「タオ・スラナリー」の名を贈りました。

タオ・スラナリーは、1852年に81歳で亡くなりましたが、1934年、ナコン・ラチャシマの町の西側にあるチュムボン門の前に銅像が建てられました。ここでは今も、毎年3月23日からの10日間、タオ・スラナリー祭りが催されます。

世界遺産に登録されているアユタヤ、アンダマン海に浮かぶスバやゴルフや美しい海を満喫できるブーケット、ピマイのクメール遺跡などで知られるナコン・ラチャシマは、いずれもタイの有名な観光地です。これらへの地を訪れたとき、国を思い、夫を思って勇気をもって戦った彼女たちに思いを馳せると、また違った風景が見えてくるかもしれません。